

## 報道発表資料

平成30年7月30日（月）加茂郡・可児郡町村合同定例記者発表配布資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
教育課	生涯学習係	河合 透	0574-43-2111 内線 2515

## 第12回筑前琵琶演奏会

～琵琶と読み語りでつづる平家物語・第二章 おやこ なさけ 父子の情～

八百津町人道の丘公園特設会場にて、9月8日（土曜日）第12回筑前琵琶演奏会を開催します。

八百津町在住の筑前琵琶演奏家、田中旭泉さんの演奏会は今年で12回目を迎えます。昨年度より筑前琵琶の演奏と読み語りで「平家物語」の世界をお届けしています。昨年は、例年より多い約350名のお客さまにご来場いただきました。

今年は、「琵琶と読み語りでつづる平家物語 第二章・父子の情」と題し、戦国の騒乱の世に翻弄される父と子の姿を、月明かりの下、情感たっぷりにうたいあげます。

皆さまのご来場をお待ちしています。



## ●開催要項

- と き 平成30年9月8日（土） 午後6時開場 午後7時開演
- 会 場 人道の丘公園 シンボルモニュメント前 特設会場  
(八百津町八百津1071)  
(雨天時：八百津町ファミリーセンター大ホール  
八百津町八百津3827-1)
- 出 演 田中旭泉（たなかきよくせん・筑前琵琶演奏家）  
いちかわあつき（読み語り）  
三木秀生（事前講演会講師）
- チケット 500円（八百津町ファミリーセンター・役場各出張所等で発売中）
- 内 容 別添チラシのとおり
- 主 催 八百津町教育委員会

夜空にまたたく星空の下、燃えさかるかがり火の音や虫たちの声と共に奏でられる古典芸能・筑前琵琶に触れていただくこの演奏会。多くの方にお越しいただきたいので、当日の取材ほか、事前の告知もぜひ紙面等に掲載いただければ幸いです。よろしくお願いたします。

発信担当 八百津町役場総務課広報行政係 船戸

電話 0574-43-2111（内線 2216） kouhou@town.yaotsu.lg.jp

琵琶と読み語りでつづる

# 平家物語

第二章  
父子の情

～筑前琵琶演目～  
「箆の梅」  
「熊谷と敦盛」

筑前琵琶演奏

田中 旭泉

読み語り

いちかわあつき

講演

三木 秀生

～読み語り～

「吉村昭の  
平家物語」より

「完訳  
源平盛衰記」より



古典をいただき  
**古典の日**  
古典に抱かれて

## 第12回 筑前琵琶演奏会

日時：平成30年9月8日(土) 午後6時開場／午後7時開演(入場料500円)

会場：八百津町人道の丘公園 メモリアルゾーン シンボルモニュメント  
(雨天時／八百津町ファミリーセンター大ホール)

主催：八百津町教育委員会 後援：古典の日推進委員会 助成：(財)とうしん地域振興協力基金



# 琵琶と読み語りにつづる 平家物語

## — 第二章 父子の情 —

戦いの中、自らの立場より“人として、あるべき様を貫いた杉原千畝  
そのゆかりの町・八百津町人道の丘で今、平家物語を聴く  
幾歳を経ても、戦いの中で繰り返される人間の情は、なんら変わらない  
いにしえの人々からのメッセージをこの人道の丘で享受する

### 箆の梅 EBIRA NO UME

栄華の夢に酔いしれた平家も、おごれる者は久しからず、権花一朝の夢と醒め、西国へと落ちてゆきました。再び力を得て摂津・播磨の堺にある一の谷に根城を構えました。

寿永三(1184)年如月(旧暦2月)平家方の大将範頼(のりより)は五万余騎で生田の森の城戸口まで攻め寄せてきました。源氏方の古兵梶原平三景時は手勢五百余騎をうち連れて、一の城戸より攻め入り、程よい頃合いを見て引き揚げました。景時は、息子の姿が見えないことに気をいらだたせ、引き返して戦います。「逆櫓」の場面では、義経と争い、頼朝に讒言する景時も人の親、その父親としての情の深さに触れることが出来ます。

景時の嫡子・景季(かげすえ)は多勢に囲まれ、もはやこれまでと、ただ一騎にて戦っていました。箆(矢を入れて腰に背負う箱形の道具)に梅の一枝をさし、戦うたびに箆の梅はひらりひらりと花びらが散り、平家方にもその香りが漂いました。花箆として敵の平家方にも称えられた風流な梶原景季の物語です。

### 熊谷と敦盛 KUMAGAI TO ATSUMORI

元暦元年(寿永三年)二月、一の谷の合戦は源氏方の大勝利と決しました。熊谷直実はさらに功名を上げようと須磨の渚に馬をすすめ、立派な身なりの平家の武者を見つけます。大將軍と思しき武者と熊谷との一騎打ち。熊谷に押さえつけられた武者の顔を見れば、まだ十六、七の美少年でした。熊谷は、武者と同年代の美子が惚かれて、命を奪うことがためらわれ、見逃そうと思えます。しかし、背後から源氏の軍勢が近づいてきており、泣く泣く首を掻き斬ります。若き武者の名前は、平敦盛。鎧のうちからは「小枝」と呼ばれる笛が出てきました。思えば昨夜、熊谷が聞き惚れた笛の音色は、敦盛が奏していたのでした。直実は出家し名を蓮生とあらため、敦盛の後生を弔うのでした。



### 筑前琵琶

#### 田中 旭泉 TANAKA KYOKUSEN プロフィール

1970年、福井にて出生。1976年、琵琶の収集家であった祖父の影響を受け、矢吹旭津美師匠に琵琶を習い始める。1992年、矢吹師匠他界後、人間国宝、故・山崎旭萃師匠の直弟子となる。また、琵琶奏者の登竜門といわれる「第三十回琵琶楽コンクール」で最年少優勝。文部大臣奨励賞、日本放送協会会長賞など受賞。1993年、筑前琵琶日本橋会師範免状取得。1995年、大阪文化祭奨励賞受賞(大阪市)。1996年、咲くやこの花賞受賞(大阪市)。1999年、フランス・ドイッ公演。2001年、拠点を京都から岐阜に移す。今までに、小川旭典師、箕浦旭声師、山下旭瑞師の指導も受ける。

### 読み語り

#### いちかわ あつき ICHIKAWA ATSUKI プロフィール

1960年中津川市生まれ。青年劇場演劇養成所卒業。帰郷後地元劇団での活動を経て、1995年、ひとり語り「劇車 銀河鉄道」設立。あらゆる場所を舞台にして出前公演活動を行っている。図書館・幼稚園・保育園等での絵本の読み語りも好評。



楽しい古典!

とっても楽しい  
平家物語

9月8日(土) 午後4時より  
ファミリーセンター大研修室にて  
講師: 三木秀生 先生



古典というと堅苦しい、わかりにくいイメージがあります。そんなイメージをくつがえしてくれる三木先生による、本当におもしろい平家物語講座です。前回の講演も大好評でした!

#### 講演 三木 秀生 MIKI HIDEO

1943年関市生まれ。関西大学文学部国文学科卒業。1966年4月から2002年3月まで岐阜東高校教諭。2002年4月から中部学院大学講師「文学と人間」を担当。岐阜市図書館、各務原市、岐南町、関市等々、多数の講座にて講演。著書多数。

日時 平成30年9月8日(土)

午後6時開場 午後7時開演 午後8時30分終演予定

場所 人道の丘公園メモリアルゾーン

(雨天時 八百津町ファミリーセンター大ホール)

入場料 500円 平成30年7月10日より入場券販売開始

(取り扱い 八百津町ファミリーセンター及び役場各出張所・杉原千畝記念館にて)

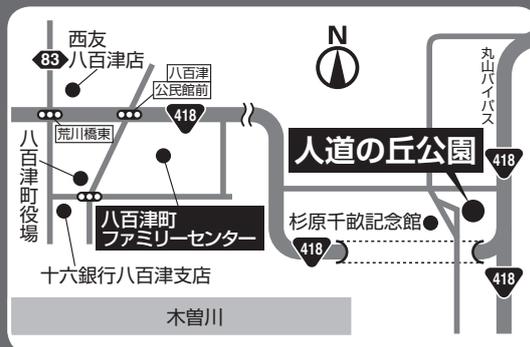
主催 八百津町教育委員会 後援 古典の日推進委員会

助成 (財)とうしん地域振興協力基金

資料提供 明星大学図書館(奈良絵本平家物語)

お問合せ 八百津町教育委員会 電話 0574-43-0390 FAX 0574-43-0372  
メール yaotsu@town.yaotsu.lg.jp

### 交通案内



お車の場合 東海環状自動車道「可児御嵩I.C.」から  
県道83号線「やおつトンネル」経由15分